

4 大学院研究科の学生用実験・実習室の面積・規模

2006/5/1現在

(表39)

用途別室名	室数	総面積 (m ²)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 たりの面積(m ²)	使用研究科等	備考
実験実習室	1	23.14	5	4.63	文学研究科	
実験実習室	1	79.50	10	7.95	社会学研究科	
情報処理学習施設	1	38.76	12	3.23	経済学研究科	
情報処理学習施設	1	17.05	8	2.13	商学研究科	
実験実習室	78	5,498.20	824	6.67	理工学研究科	
実験実習室	2	227.42	116	1.96	司法研究科	
情報処理学習施設	1	98.78	48	2.06		
情報処理学習施設	2	178.39	62	2.88	経営戦略研究科	
語学学習施設	1	75.20	54	1.39	言語コミュニケーション 文化研究科	
情報処理学習施設	3	224.80	111	2.03		
計	91	6,461.24	1,250	5.17		

[注] 1 原則として研究科ごとにまとめること。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入すること。

3 当該施設を他研究科もしくは学部等と共用している場合は、その研究科、学部名等を「使用研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないこと。

4 前2表「2 学部・大学院研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模」(表37)、「3 学部の学生用実験・実習室の面積・規模」(表38)に記載の実験・実習室等を本表に記載する場合については、「備考」欄に「【再掲】」と記入すること。

5 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載すること。